

SolidEdge template

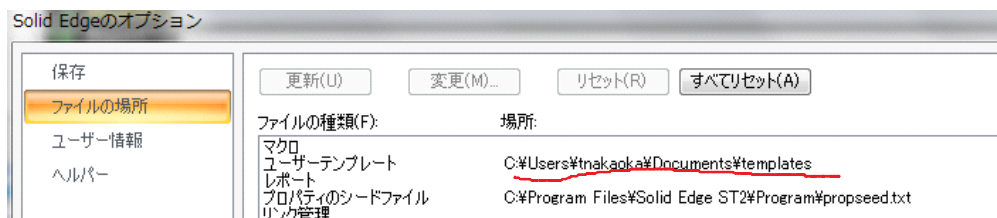
2012年4月26日
17:41

templateを
<\\andromeda\73B1\tnakaoka\cadtools\templates>
に置きました

さしあたり
Jis assembly.asm
Jis draft-JSK kijo.dft
Jis part.par
jis sheet metal.psm 2012/06/14 9:23追加
Propseed.txt
Material.mtl
Custom.xml
DraftList.txt 2012/05/24 10:46追加

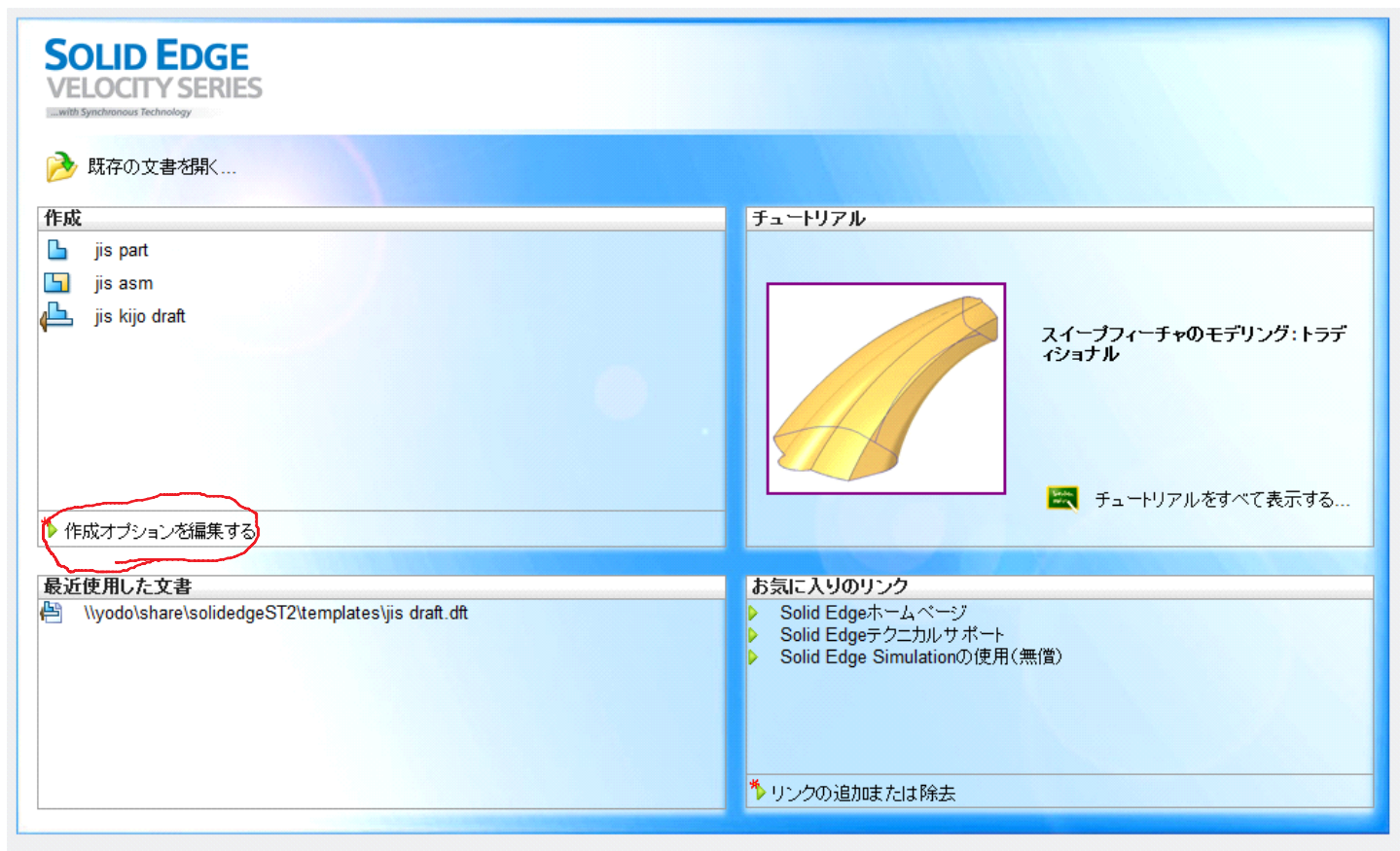
をローカルのフォルダ(mydocuments\templateなど)にコピー (これをネットワークドライブのままにしておくとネットワーク外に行ったときにパーツが作れなくなる)

Solid Edgeのオプション->ファイルの場所のユーザーテンプレートにさっきのを指定(mydocuments\template
そしてok



画面の領域の取り込み日時: 2012/04/26 17:44

作成オプションを編集する をクリック



画面の領域の取り込み日時: 2012/04/26 17:45

ファイル作成のオプション

現在のリスト:

テンプレート	表示名	説明
jis part.par	jis part	
jis assembly.asm	jis asm	
jis draft-JSK kijo.dft	jis kijo draft	

テンプレート: 上に移動(U) 下に移動(D) 削除(R)

表示名(N): 参照

説明(E): 追加(A)

OK キャンセル

画面の領域の取り込み日時: 2012/04/26 17:46

参照をクリックし、さきほどのフォルダにコピーしたファイルを選択。表示名にjis partなどを入れて追加を押す
これを4つのファイルに対して行い、ok
ISOを使わなければ他のを消すとすっきりしてよい

一旦solid edgeを終了して、propseed.txtとMaterial.mtl、custom.xmlを [C:\Program Files\Solid Edge ST2\Program](#)以下に上書きコピーする
Propseed.txtはパーツなどを新規作成したときのオプションを指定するファイル、個数・工程・備考を作ったある
Material.mtlは材質ファイル、ドラフト用に記号だけの材質名を作ったある
Custom.xmlでは穴ツールでドロップダウンボックスから選択できる穴の種類を定義してある
また、DraftList.txtを[C:\Program Files\Solid Edge ST2\Template\Reports](#)に上書きコピー 2012/05/24 10:46追加 これでdraftですごいパーツリストが使えるようになる

ここまでしてSolid edgeを立ち上げる。

新規パーツを作ると背景が白くなってしまう場合は、SolidEdgeのオプション->色で、配色をSolidEdge2007とかにするとよい

ついでに保存->自動的な文書保持も有効にしておきましょう

Preferences